

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 企救丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

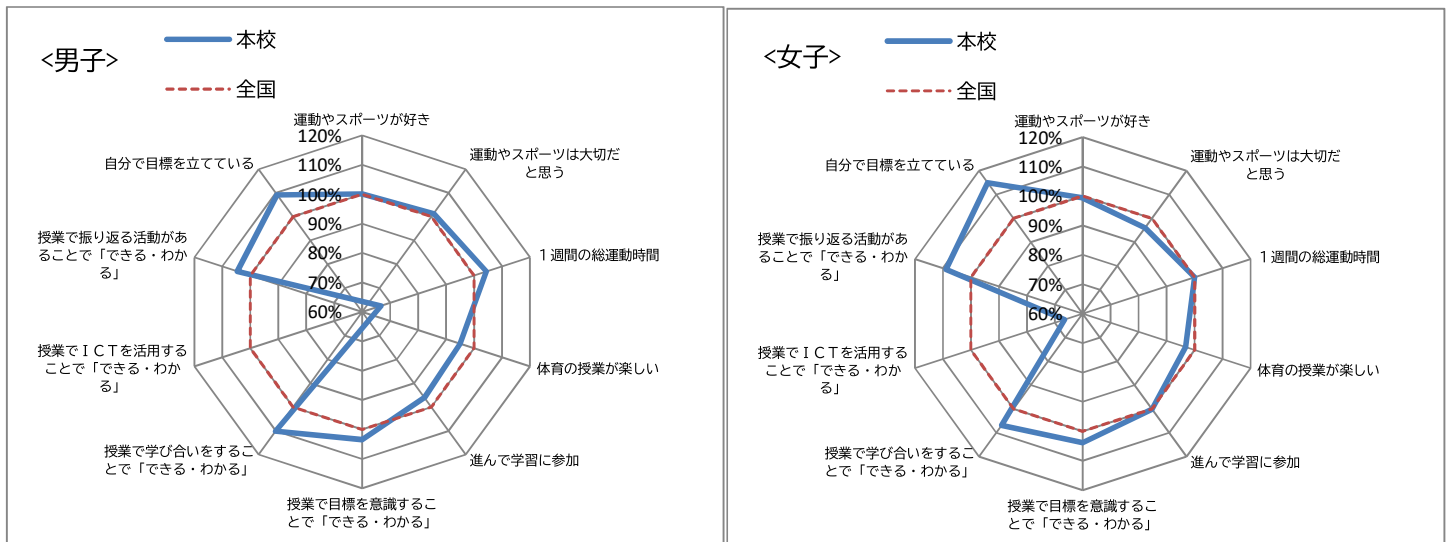
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目		○							

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目	○	○					○		

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

「授業で学び合いをすることで『できる・わかる』」: 本校の結果は92.5%で、全国の結果の88.25%より4.25%高い。
 「授業で振り返る活動があることで『できる・わかる』」: 本校の結果は85%で、全国の結果の79.6%より5.4%高い。
 「授業でICTを活用することで『できる・わかる』」: 本校の結果は34.6%で、全国の結果の57.7%より23.1%低い。
 本校の体育科の学習において、学び合いと振り返りの時間を確保を大切にしている。技のポイントや安全な場の設定など相互に伝え合うことで集団としての学習スタイルが確立している。今後の課題として、活動時間の確保に努めながら、タブレット端末で自分自身の動きを見直し分析することが大切である。タブレット端末の活用を意識した授業づくりを行ってきたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

授業が楽しいと児童が感じるために、「できた」という体験を増やすことが大切だ。北九州好きちゃプログラムを活用し、領域に応じた準備運動を行うことで楽しみながら基礎体力と基本の動きを身に付けるように学校全体で取り組む。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

毎週水曜日、企救丘小学校の独自のダンス「きくがおカーニバル」を踊った。ダンスを踊ることがきっかけになり、ダンスが終わった後、外でそのまま遊ぶ児童の姿が見られた。